

令和8年度 第1回 契約監視委員会 審議概要

日 時	令和8年6月4日(木) 13:30~15:00
形 式	オンライン会議 (主会場：国立研究開発法人海洋研究開発機構 横須賀本部)
出席者名	菊池委員長、上岡委員(※)、富岡委員(※)、三尾委員(※)、宮崎委員(※) ※オンライン参加者
事務局	国立研究開発法人海洋研究開発機構 監査室
審議概要	<p>1. 前回委員会で委員より質問のあった事項について担当者より説明があり、令和7年度第3回契約監視委員会議事録(案)が承認された。 その際、調達のコストや時間を効率化するため、一者応札時の随意契約移行制度の検討を求める発言があった。</p> <p>2. 令和7年12月~令和8年3月の契約案件の中から、委員が事前に選定した4件に関して詳細な説明があり、各案件に対する契約手続等の妥当性について審議が行われ、以下の点について委員より意見があった。 ・計画的な調達と条件改善：予算段階からの複数社とのコミュニケーションや、高額案件における十分な入札期間の確保。 ・新規参入の促進：生成AIを活用した競合他社探索のほか、新規参入を阻害する可能性のある評価基準の見直し。</p> <p>3. 令和7年度調達等合理化計画の実施結果及び自己評価について担当者より説明があり、委員からは特段の意見や質問はなく、承認された。</p> <p>4. 令和8年度調達等合理化計画(案)について担当者より説明があり、委員より、以下の点について意見があった。 ・原案はルールどおり運営していること自体に問題はないが、やや受け身的な案に思える。これまでの委員会で何回も発言してきた通り、一者応札削減について、より能動的に競争性を高める取り組みを検討の上、早期に計画書への反映を検討されたい。また、これらの施策については、早期に試行できる項目を検討し、対応されたい。</p>
決定事項	<p>1. 令和7年度調達等合理化計画の自己評価について、承認された。</p> <p>2. 令和8年度調達等合理化計画(案)について、事前に事業者に働きかける、入札期間を長めに設定するなどし、より能動的に競争性を高める取り組みを検討の上、早期の試行や計画書への反映を検討することが意見された。</p>
その他	